

## 製品安全データシート

会 社：株式会社 佐藤商事  
住 所：神奈川県川崎市小杉町  
1-403  
電 話 番 号：044-738-0622  
F A X：044-738-0623

### 製品名：炭酸塩 pH 標準液 (pH10.01)

#### 物質の特定

単一製品・混合物の区別： 混合物

化 学 名： 炭酸水素ナトリウム、炭酸ナトリウム、水

成分及び含有量 炭酸水素ナトリウム約 0.21%(0.02490mol/l)

炭酸ナトリウム約 0.26%(0.02491mol/l)

含有する水溶液

化学式又は構造式：  $\text{NaHCO}_3$

$\text{Na}_2\text{CO}_3$

官報公示整理番号 化審法：炭酸水素ナトリウム 1-164

炭酸ナトリウム 1-164

安衛法：炭酸水素ナトリウム 公表

炭酸ナトリウム 公表

C A S N o . : 炭酸水素ナトリウム 144-55-8

炭酸ナトリウム 497-19-8

国連分類： 国連の分類の定義上危険有害物に指定しない。

#### 危険有害性の分類

分類の名称： 分類の定義上危険有害物に該当しない。

危険性： 不燃性であり危険性は特になし。

有害性： 多量に摂取すると、悪心を起こすことがある。

環境影響： 特になし。

#### 応急措置

目に入った場合： 直ちに流水で十分に洗い流す。

皮膚に付いた場合： 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

吸入した場合： 直ちに新鮮な空気のある場所に移して、口(うがい)・鼻(鼻をかむ)の洗浄をさせる。

飲み込んだ場合： 直ちに水を飲ませる。

### 火災時の措置

消火方法： この製品自体は不燃性であり、燃焼しない。

消化剤： 大量注水、水噴霧、炭酸ガス、粉末・泡消化剤、乾燥砂・粉末消火器

### 漏出時の措置

作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用し、漏洩した液は紙、布などでふきとる。

### 取扱い及び保管上の注意

取扱い： できるだけ皮膚に付着しないよう注意する。

保 管： 密栓して冷暗所に保管する。

保管容器はガラス・ポリエチレン・ポリプロピレン等

### 暴露防止措置

管理濃度： 設定されていない

許容濃度： 日本産業衛生学会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

設備対策： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所廃棄装置を設置する。

保 護 具： 保護手袋、保護眼鏡、を必要に応じて着用する。

### 物理／化学的性質

外観など： 白色結晶、無臭

沸 点： 100℃

融 点： 0℃

揮発性： 無

密 度： 約1g/ml(20℃)

溶解性： 水、自由に混合

その他： 不燃性である。

### 危険性情報 (安定性・反応性)

引火点： 不燃性

安定性・通常条件にて安定である。

### 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

刺 激 性 (皮膚・眼)： 眼などに対して刺激性が有る。(炭酸水素ナトリウムとして)  
ハムスター 皮膚 30mg/3day Mild

感作性： データなし

急性毒性： 多量に経口摂取すると、悪心をおこすことがある。(炭酸水素ナトリウムとして)  
ラット 経口 LD50= 4300mg/kg

慢性毒性： データなし  
がん原性： IARC および NTP のリストに記載されていない。  
変異原性： データなし  
生殖毒性： データなし  
催奇形性： データなし

#### 環境影響情報

分解性： データなし  
移動性： データなし

#### 廃棄上の注意

残余廃棄物： 酸で中和した後、大量の水とともに下水に流す。  
容器： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 輸送上の注意

国連分類： 分類基準に該当しない。  
国内規制： 適用法令なし。  
輸送の安全対策： 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れの無い事を確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

#### 適用法令

化学物質管理促進法： 非該当  
毒物および劇物取締法： 非該当  
労働安全衛生法： 非該当

#### その他の情報

引用文献： 化学大辞典 共立出版社(1963)  
14303 の化学商品、化学工業日報社(2003)  
関東化学株式会社 製品安全データシート

この製品安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。 又、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。 尚、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。